

「令和5年度 神奈川県立高等学校及び中等教育学校 生徒による授業評価」の結果について

各学校においては、この結果を活用して組織的な授業改善を一層推進し、「確かな学力」の育成に取り組んでまいります。

(1) 概要

| | |
|-------|--|
| 目的 | 生徒の確かな学力を育成するため、各学校における教員の指導力の向上や授業の改善を図るとともに、生徒自らが学習への取組を見つめ直す機会とする。 |
| 対象 | 全県立高等学校及び中等教育学校（後期課程）の全生徒 |
| 調査期日 | 第1回は夏季休業前、第2回は冬季休業前に各学校が設定した日 |
| 内容・方法 | 各学校において、授業の在り方や学習の状況について、「かなり当てはまる」「ほぼ当てはまる」「あまり当てはまらない」「ほとんど当てはまらない」の4段階の評価によるアンケート方式で実施した。 |

(2) 主な結果（第2回の集計結果）

＜共通教科における「かなり当てはまる」と「ほぼ当てはまる」の合計の割合＞
（単位：％、令和5年度の（）内は、令和元年度と比較した際の増減）

| 質問項目 | | 実施年度 | | | | |
|------------|---|------|------|------|------|----------------|
| | | 令和元 | 令和2 | 令和3 | 令和4 | 令和5 |
| 授業の在り方について | 1 | 84.0 | 86.3 | 86.8 | 85.7 | 86.8 (+2.8) |
| | 2 | 81.9 | 83.1 | 84.2 | 84.4 | 85.9 (+4.0) |
| | 3 | 84.2 | 86.3 | 87.1 | 87.0 | 88.4 (+4.2) |
| 学習の状況について | 4 | 83.9 | 86.1 | 86.9 | 86.3 | 87.6 (+3.7) |
| | 5 | 81.4 | 82.7 | 83.8 | 84.1 | 85.6 (+4.2) |
| | 6 | 83.0 | 85.3 | 86.2 | 85.8 | 87.5 (+4.5) |
| | 7 | 84.6 | 87.0 | 87.7 | 87.3 | 88.6 (+4.0) |

- 今回は、学習指導要領の改訂を見据えて質問項目を全面的に改訂した令和元年度からの経年変化を示すこととした。
- そうしたところ、共通小項目における肯定的な回答の割合には、増加傾向がみられる。具体的には、1を除く六つの共通小項目における肯定的な回答の割合が、令和元年度と比較して4％程度上昇した。各学校が、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を組織的に進めてきた成果であると考えられる。

＜課題の改善の方向性＞

「主体的な学び」に関する共通小項目1は、他の項目と比較して、令和元年度から増加した割合が小さい。「主体的に学習に取り組む態度」の育成に必要な「学習における自己調整」という側面からも、「見通しと振り返り」が、単に活動に対する見通しや振り返りに終始せずに単元の目標に基づくものとなるよう、「指導と評価の一体化」を実現するための教材研究の在り方を提案する等、各学校の授業づくりを具体的に支援していくことが必要である。